



# 新着図書案内

2020.夏休み直前号

松阪商業高校図書館

1学期に借りた本は  
いったん返却または、延長手続きを!



夏休み特別貸出 スタート!

7/10(金)~8/7(金)に借りた本  
→返却日 8/25(火) 始業式翌日まで

冊数制限なし!何冊でも読めるだけ

[夏休み図書館カレンダー]は、「図書館通信2020夏休み直前号」を見てね。

## 新着図書から



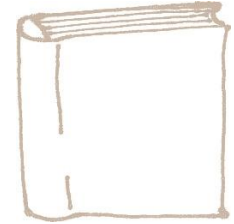
「なぜ僕らは働くのか」  
池上彰監修、学研プラス、2020

将来の働き方について考えるヒントがたくさん詰まっています。「働く」ことを切り口に、幸せに生きていくために考えたいことにも触れています。自分の考えを整理し、背中を押してくれる一冊となりますように。



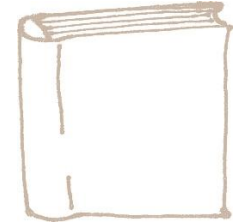
「心を強くする」サーシャ・バイン著、高見浩訳  
飛鳥新社、2019

大坂なおみ選手を世界のトップへと導いたコーチが「世界一のメンタル」50のルールをおし教えます。スポーツ選手だけでなく、あらゆる人が参考にできそう。



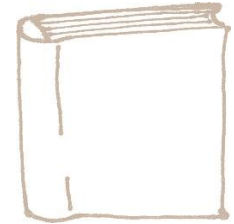
「身のまわりのすごい「しくみ」大百科」  
涌井良幸/涌井貞美著、KADOKAWA、2020

身近な物事に備わるすごい「しくみ」を解説した雑学科学読本。ハイテク、動植物、社会全般、人体、生活周辺、気象、電気関連……。関心のあるジャンルからページをめくってみて下さい。



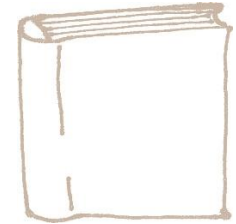
「世界のキッチンから 商品開発と写真の関係」  
高橋ヨコ 写真、美術出版社、2019

世界中のキッチンへの旅からヒントを得て、清涼飲料水を商品開発していく様子を記録した写真集。お得意の飲み物を作り、振舞ってくれるお母さんたちの笑顔が素敵。



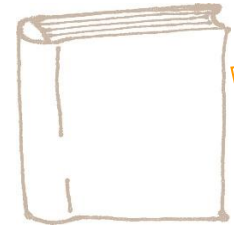
「英語ネイティブ脳みそのつくりかた」白川寧々著  
大和出版、2019

「将来は海外で仕事をしたり学んだりしたい」と思う人におすすめ。英語実践プログラム「ネイティブマインド」開発者が紹介する、脳内留学の方法とは?



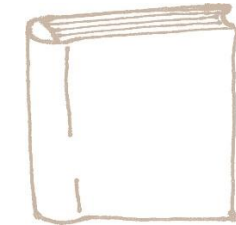
「世界ことわざ比較辞典」日本ことわざ文化学会編、  
岩波書店、2020

日本の常用ことわざから、世界の同じ意味を持つことわざを探し出し、比較してみた辞典です。世界の25の言語・地域から6500以上のことわざの類を集めています。同様の意味を持つことわざ第1位はなんでしょう?



「ピエタとトランジ」藤野可織著、講談社、2020

天才的な頭脳を持つ女子高生名探偵トランジと、同級生で、助手を名乗りでたピエタ。2人のサッパリとした風通しのよい友情が、心を温めます。中年以降の話も追記された完全版。



「ザリガニの鳴くところ」ティエリ・オーエンス著  
友廣純訳、2020

6歳から、湿地の小屋でひとり生きることを強いられたカイヤ。村の人々にさげすまれながらも、豊かな自然に抱かれ、少女は静かに暮らし、成長していきます。村に不審死事件がおこるまでは、最後まで、彼女の幸せを祈りながら読みました。

## 図書館特集コーナー

この夏、読んでみませんか?

〈高校生に読んでほしい50冊~新潮文庫冊子より〉